

ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2020
March

はじめまして！日本！ ～ニュージーランドの10代から見た日本・中野～

第3回なかの国際交流フェスタ
イベントレポート 冬の日本語クラス
インターナショナルウィーク
NZから短期留学生
デージーさんから学ぶおもてなしレッスン

お知らせ 春休み子ども日本語クラス
語学講座募集中

お力添えありがとうございました
編集後記



はじめまして！日本！

～ニュージーランドの10代から見た日本・中野～

1986年から中野とウェリントンは「中野・ウェリントン友好子ども交流事業」を実施しています。ホームステイや学区への体験入学、学習旅行や地域での交流を行うことで、互いの文化や歴史を学び、交流にかかわるさまざまな人々が相互に理解を深め、国際交流の一助になることを目指しています。本年度は、2019年9月29日から10月13日までの2週間、ニュージーランドのウェリントンから22名の子どもたちが、中野にやってきました。10代のニュージーランドの子の目に「初めての日本」はどう映ったのでしょうか？感想文を一部抜粋して紹介します。

学校生活で印象に残ったこと

- ・バスケットボールの部活動です。僕はニュージーランドでバスケットボールをしています。トレーニングスタイルの違いがとても興味深いと感じました。(Ben Potter)
- ・最初に気づいた違いは、毎日、校門で「お早うございます」と挨拶を交わっていたことです。校内に入ると室内履きと外で履く靴を入れる下駄箱がありました。とても衛生的だと感じました。(Jeremy Chan)
- ・お辞儀が礼儀正しさを示すという事を学びました。皆さんにお勧めする事は、常に礼儀正しくするという事です。何故なら日本人は非常に礼儀正しいと気づいたからです。(Roland Sze)
- ・習字は難しかったです。書くときには専用の筆を使うのですが、それは長すぎるし凄く乾燥していたからです。漢字や日本語で自分の名前を書きかたを学んだのは、とってもいい体験になりました。(Jihye Moon)
- ・日本の学校の給食は、ニュージーランドのように家から自分の昼食を持って来るより良い、ということを知りました。確かに、子供たちは日中に一番重要な食事をとったほうが良い。日本には、ニュージーランドの教育システムが向上するための助け

になる、真似るべき事例がたくさんあると思いました。(Arno Stil)

- ・学校で会った全ての人が信じられないくらい優しく、そして私はいつも輪の中に入れてもらっていました。クラスメイトは全員が私と話をしようと努力をしてくれました。私にも授業の内容が分かるように英語で話そうとする先生もいました。(Carol Eir)



日常生活で気づいたこと

- ・日本の電車の乗り方は異なる仕組みで、乗車と降車時に支払動作をします。電車の切符を買わずに、ピット鳴るカードで、電車・バスそしてタクシーにも乗車できます。また、私は普段キャッシュカードで買い物をするので殆どの人が現金で支払いしていることに驚きました。(Aidan Gillard)
- ・日本のユニークなことの一つは、沢山の人が自転車を使う事です。私はホストファミリーと中野ブロードウェイに自転車で行きましたが、途中たくさんの自転車を見ました。ニュージーランドでは、このような光景は決して見られません。自転車専用の駐車場があった事も驚きでした。(Jiseop Shin)
- ・沢山の新しい文化や生活様式をさらに知ることが出来ました。家に入る時はスリッパに履き替えることや、食事前に「いただきます！」と言うことです。これらのことは、ニュージーランドと日本の生活様式の類似性と相違性の理解への助けとなりました。(Shavonne Ramiah)
- ・そこに実際に住んでみてこんなに文化が違うのだ、とは、来るまではわかりませんでした。例えば、整然として秩序が守られ機能している駅のマナー、人々は自動的にエスカレーターの左へ寄る、すれ違う人に軽く会釈する、それで、社会はこんな風

にも動くのかと新しい様式を発見したようで、正直驚きました。(Molly Zhou)

- ・僕が気づいた文化的違いは、住宅が密集していることで、壁がくっつきそうなくらい家がすぐ近くに隣り合っていて、裏庭がないことは残念でした。ニュージーランドでは裏庭があることが普通だからです。(Samuel McLay)



施設見学で楽しかったこと

- ・僕はグリコの工場が一番楽しかったです。ポッキー（5,000円までの値ごろのもの）を沢山買い、その日の内に殆ど食べてしまいました。ポッキーがどのような製造工程なのかを見学できたことは、楽しい思い出です。(Martyn Gascoigne)
- ・お気に入りの経験は、山登りです。頂上からの景色は素晴らしく、私が今まで山から見た風景で最も美しいと言えるものでした。美しい植物や木々が見ることができるとい理由などから、日本の山に登ることは、恐らく最も良い経験の1つです。ただ道を歩きながら緑を見るということだけでも魅了されました。(Antony Hughes)
- ・圧倒的にデジタルアートミュージアム（チームラボボーダレス）に行ったことです。初めて聞いたときはずいぶんつまらなさそうでしたが、実際は期待が低かったこともあり、どの展示も

何とも言えない美しさでした。光の展示を初めて体験したとき、今でもそれを忘れられないし、生涯忘れないだろうと思います。(Declan Magee)



日本の食事はおいしい！！

- ・日本に来る前に箸の使い方を学ぶ事をお勧めします。日本では、箸を非常に使うので、家に帰った時にナイフとフォークの使い方をほとんど忘れる程でした。最初に着いて、カツ丼と蕎麦の最初の食事をした時、ホストファミリーよりも3倍も時間が掛かりました。それで、大事な観光の時間を無駄にしなければ、日本訪問前に箸の使い方を学ぶことです。(Daniel Akerblom)
- ・日本に在る間は、できる限りどっぷり日本文化につかることをお勧めします。これを実現する手っ取り早い方法は日本独特の食文化、たこ焼き、うどん、ラーメン、寿司でしょう。(Dineth Jayasinghe)
- ・お勧めはしゃぶしゃぶのレストラン、おせんべい屋さんです。しゃぶしゃぶはとてもおいしく、料理するのがとても楽しいで

す。おせんべい屋さんに行くとせんべいを作る工程を見られるのでとても楽しかったです。でも、お店はとても暑いので持ち扇風機を持って行ってくださいね。(Jaelen Walker)



ホストファミリーとの思い出

- ・ホストマザーの家事を手伝うのが大好きでした。なぜならニュージーランドと比べて日本の家電がどのように動くのかということや和食について知ることが出来たからです。(Ian Ku)
- ・日本の伝統的なカード遊びを色々教えてくれました。本当に楽しく、ニュージーランドに持ち帰り、友人にも紹介しています。更に、日本語の言葉遊びもしました。日本についての知識を得



ただでなく、文化の違いも体得できたことに感謝をしています。(Jayden Kah)

- ・週末に晴人とイクトとたくさんゲームをしました。よくやったゲームはFIFA（サッカーゲーム）でしたが、とても面白く、リラックスできます。(John Gascoigne)
- ・ホストファミリーの中には小さなあおいさんという子がいて、ソファで僕が1人寂しそうにしているとちょこんと隣に座り本をいつも読んでくれました。彼女が何を言っているのかさっぱりわかりませんが、わざわざ僕のためにしてくれた事にとても感動しました。(Ryan Wee)
- ・僕にとって一番ありがたかったことは、僕の御朱印帳に御朱印のスタンプをもらいに、家族がまた別の神社にわざわざ行ってくれたことや、買い物やスカイツリーに連れて行ってくれたことなどで、家で一緒に過ごすだけでも僕の人生で楽しい時間でした。(Breyton Mackey)

「何事にもトライすることが大切」「初めての家族から離れた生活で緊張したが、自分の『安全地帯』から出ることができた」「自分のことを自分でやり、自立できた」「人生観が変わった」「また日本に来たい。日本に住みたい」
 …10代の瑞々しい感性で、母国との違いを受け入れ、地域の人達のやさしさにふれ、初めての日本を心から楽しんだ子どもたちが、それぞれ自身の成長を実感した様子がうかがえました。

今年の夏は中野の子がニュージーランドへ行きます。交流を通してさらに両国の絆が深まるよう願っています。

第3回

なかの国際交流フェスタ

2020年2月14日(金)なかのZERO 西館小ホールにて「なかの国際交流フェスタ」が開催されました。今年は初めて平日夜、小ホールを使用し、ステージでの出し物を中心とした開催となりました。冷たい小雨まじりのあいにくのお天気でしたが、多くの方が来場しました。

ステージ



帝京平成大学の池田邦太郎先生、イーストウエスト日本語学校に通っている韓国出身のジョンさん、同じくミャンマー出身のスーさんが司会を務めました。



エベレストインターナショナルスクールの小・中学生によるネパールのファッションショーと踊り。あてやかな民族衣装がとてもきれい！

帝京平成大学アカペラ部、帝京平成大学合唱部の美しい歌声に心が洗われます。



イーストウエスト日本語学校「歌&ダンス」(韓流ダンス、日本の歌独唱、日本の歌「糸」合唱)それぞれ皆堂々としたパフォーマンスでした。



劉妍さんによる「京劇と変面」。変面とは中国の古典劇に伝わる顔を変える技で、一瞬にして顔を目にもとまらぬ速さで次々に仮面が変わっていきます。その技術は国家機密とまで言われているのだとか。目の前でみても仕掛けが全くわからない！！

最後には抽選会!!豪華賞品が当たった人もいました♪



和文化パフォーマンスユニット紅<kurenai>日本の伝統芸能の「生け花、書道、和太鼓」の豪華コラボレーション。客席からの参加もあり、伝統文化の新たな面が見え客席参加もあり、大いに盛り上がりました。

ロビー

ロビーでは物販販売などがありました。

二胡演奏



ハンドペインティングコーナー



フィリピン、韓国、ニュージーランド、タイ、スペイン、ハワイ、台湾のお菓子や雑貨を販売するお店が出ました。



イベント / レポート

冬の日本語クラス

12月最後の日本語クラスはお楽しみ会がありました。「お正月」の歌を歌い、干支についての話を聞きました。また、それぞれ習ったばかりの日本語を使って、初級者は自分の名前や出身国について、上級者はそれに加えて好きなことや趣味について簡単にスピーチしました。

1月の最初のクラスは習字で始まりました。今年は初めて半紙だけではなく、布のフラッグにも書き、2月上旬に中野駅南口からなかのZEROまでの千光前通りに展示されました。小学生から大人まで「一日一善」「有言実行」といった目標や「一家団欒」「一期一会」というような好きな言葉、「富士山」「カレーライス」といった自分の好きなものを、思い思いに書きました。道行く人も自由で堂々としたのびやかな作品に目を奪われていました。

日本語クラスでは日本語の勉強だけでなく、季節の行事を取り入れ、外国の方にも日本文化に親しみを持ってもらおうようにしています。

フラッグが映えます



N2から短期留学生

1月10日から2月8日の約1か月間、東亜学園高等学校にニュージーランドのウェリントンカレッジからヒロシくん、ジェーミーくん、ユンくんの3人が短期留学にやってきました。そしてANICの火曜日と木曜日の日本語講座で27時間日本語を学びました。2年間日本語を学んでからの来日なので、初日は準備してきた日本語での自己紹介を行いました。来日した間に、書道に挑戦したり、節分の鬼役になってもらったり、様々な日本文化にも触れることができたのではないかと思います。「日本語の学習は大変だったけれど楽しかった。」「先生たちはとても親切でした。僕の勉強を助けてくれました。」と最終日には、みんなの前でスピーチしました。これを機会にますます日本に興味をもって、日本語の学習を続けてくれたらと願っています。

火曜日午後の日本語講座で



インターナショナルウィーク

1月21日(火)から24日(金)まで、中野区役所1階ロビーでインターナショナルウィークが行われました。

今回は、ボランティアさんが集めてくださった世界の切手を展示しました。なんと85か国にも及びました。この国はどこにあるのだろうと探すのも楽しんでいただけたかもしれません。

やさしい(わかる)日本語のコーナーでは、ごみの出し方や災害時にもだれでもわかる日本語づくりに区民の方にも挑戦していただきました。

ほかにも、日頃から協力し合っているイーストウェスト日本語学校の学生さんたちの作成した「ここが不思議だ、日本」という掲示もしてアンケートも取りました。

さらに、世界のあいさつや「これは何語?」をあてるクイズや、中野区の外国人人口のグラフなどに見入っている区民の方もいました。

4日間色々な方とお話が出来、ANICを知っていただく良い機会となりました。

学生と話が盛り上がります



デイジーさんから学ぶおもてなしレッスン

2月2日(日)中野区立中央図書館で、火曜日午前の日本語学習者で、中国生まれニューヨーク育ちの島内デイジーさんが、ニューヨークスタイルのおもてなしについてお話ししました。ニューヨークの人たちは、あいさつをするときに「I love your hair style!」などよく相手を褒めるそうです。またホームパーティーでは、招待を受けた人は友人を連れて行ってもいいそうで、そこでの新たな出会いもパーティーの楽しみだそうです。日本に滞在してから、日本人と親しくなっておもてなしを受けることもあります。おもてなしというのは、一期一会を大切にしてお互いの気持ちの表れだというお話には、みなさん共感されている様子でした。後半は、おもてなしに使える英会話のフレーズについていくつか教えていただきましたが、それよりも「まず、日本語で話しかける!」ことが大切だそうです。外国から来た方たちは、日本語で話しかけられるほうが日本に来ていることを実感できてうれしいのだそうです。まずは「こんにちは!大丈夫ですか?」と日本語で話しかけてみるよう心がけるといいかもしれません。

リラックスした雰囲気で行った講演



お知らせ

問合せ

中野区国際交流協会 (ANIC)

TEL : 03-5342-9169 E-mail : anic@nifty.com



協会の愛称は「ANIC」です。アニー (ANNY) とニック (NICK) は、協会のマスコットです。

この「Anic info」や「Anic 短信」、協会の入り口に飾ってある折り紙でできたマスコットをみたことのある方もいるかもしれません。「国際交流協会」と「国際恐竜協会」をもじって恐竜の形をしています。

このたび、新しくあみぐるみでできたアニーとニック、スポンジでできたパペットのアニーとニックが加わりました!!! Jasutyさん、中村信子さん、ありがとうございます! これからも様々な行事の受付などで活躍することでしょう。見かけたら、ぜひ注目してくださいね♪

語学講座 募集中

申込期間 3月13日(金) 必着

申込方法 往復ハガキにて

記入事項 ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦区内在勤・在学者は勤務先名または学校名 ⑧会員・一般の別(返信用にも②③)

※抽選で25名。各期全12回(予備日を含む)

申込先 中野区中野2-9-7 なかのZERO西館 中野区国際交流協会



初めての中国語

日時 前期: 4月14日~7月28日
後期: 9月1日~12月22日
時間: 18:30~20:30 (毎週火曜日)

参加費 (各期) 一般・12,000円/会員・10,000円



初めての韓国語

日時 前期: 4月8日~7月29日
後期: 9月9日~12月16日
時間: 10:00~12:00 (毎週水曜日)

参加費 (各期) 一般・12,000円/会員・10,000円



英会話

日時 前期: 4月10日~7月10日
後期: 9月4日~12月4日
時間: 10:00~12:00 (毎週金曜日)

参加費 (各期) 一般・15,000円
会員・13,000円

実践英会話

日時 前期: 4月10日~7月10日
後期: 9月4日~12月4日
時間: 14:00~16:00 (毎週金曜日)

参加費 (各期) 一般・15,000円
会員・13,000円

Enjoy Speaking English

日時 前期: 4月13日~7月20日
後期: 9月7日~12月14日
時間: 18:30~20:30 (毎週月曜日)

参加費 (各期) 一般・15,000円
会員・13,000円

☆見学に興味のある方はANICまでお問い合わせください☆

お力添えありがとうございました

この一年に、ご寄付・ご協力いただいた方々です。(敬称略)



近藤 英勝、森田 文江、坂本 純子、吉岡 淳子、影山 昌子、神山 まゆみ、羽尾 悦子、田村 智恵子、森川 共栄、和田 秀人、中野ブロードウェイ、遠藤 クニ子、安藤捷、内野大三郎、Jcom 中野、土橋商店

編集後記

ニュージーランドの子の感想を読むと、「あたりまえ」と思っている日常生活が外国の人から見ると新鮮で驚きに満ちあふれているものだということがわかります。退屈に思えることがらも視点を変えてとりくんでいきたいと思いました。(M)

